

私の意思表示帳

～私の思い、願い～

かかりつけ
医療機関

担当医師

私の意思表示帳 ～私の思い、願い～（非売品）

発行日／ 平成26年 4月1日 初版
令和元年12月1日 第2版（一部改訂）

発行／ 一般社団法人坂戸鶴ヶ島医師会
〒350-0212 埼玉県坂戸市大字石井2327-5
TEL：049(289)2388
FAX：049(289)6433

※初版は、公益財団法人在宅医療助成勇美記念財団2013年度助成を受けて作成されたオープンデータを、2014年に坂戸鶴ヶ島医師会にて複製発行。
※第2版は、さかつるCCラボ（管内医療介護関係者）により内容を再検討し、一部改訂を行った。

自分らしく生きるために
健康なときから考えましょう

氏名



MEMO

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

あなたの思いを大切にします…

「自分らしく生きる」とは、どのような生き方でしょうか？
誰にでも自分の望む生き方や大切にしたいことがあると思います。
もし、あなたが、**病気**や**事故**などで判断ができなくなったとき、

どのような治療を望みますか？

あらかじめ意思を示しておくことで、
自分の望む生き方を家族や周囲の人に
知ってもらうことができます。

また、自分の意に反して不必要な治療を受けなくてもよくなります。

あなたの思いを大切にしたいと考えています。

最後の瞬間まで「あなたらしく」生きるために、
ご自分の意思を記録しておくことをお奨めします。

署名・同意される方々へのお願い

ご本人へ

- 気持ちの落ち着いているときに記入しましょう。
- 年齢や状況によって考えは変化します。考えが変わったら、そのつど書き直しましょう。
- 定期的に（一年に一度、誕生日など）内容を見直しましょう。

ご本人の意思を確認される方へ

- ご本人の意思を十分にご理解、ご納得された上でご署名ください。



私の意思表示 ～私の思い、願い～

もし、あなたが病気や事故により、

- 現在の医学による治療では**回復が見込めず、**
- すでに**死期が間近に迫っている**と診断され、
- あなたが**明確な意思表示ができない状態**になった場合、

どのような治療を望まれますか？

ご自身のお考えに をお付けください。

- できるだけ**の治療を望みます**
- 延命治療は望みません**
- 今はわかりません**



*延命治療のうち、詳しく記入することを希望される方は、次のページにご記入ください。

年 月 日

・ご本人

・ご本人の意思を確認された方(間柄)

()

延命治療について

ご自身のお考えに をお付けください。

	希望する	希望しない	今はわからない
① 心臓マッサージ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 気管挿管	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ 人工呼吸器	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④ 昇圧剤や 強心剤の投与	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑤ 輸血	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑥ 人工透析	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑦ 点滴	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑧ 中心静脈栄養	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑨ 経鼻経管栄養	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑩ 胃瘻	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>



記入にあたっての**主な用語の説明**

● **明確な意思表示ができない状態**

- ①急病や事故などで意識が鮮明でないとき（急性期）
- ②認知症が進んだとき
- ③病気や事故等の闘病が長期間続きかつ意思表示ができないとき（慢性期）を示します。

● **延命治療（えんめいちりょう）**

生命の延長を図る治療・処置を施すことです。
 主な延命治療には、心臓マッサージや人工呼吸器の装着などによる心肺蘇生や人工透析、輸血、中心静脈栄養などがあります。

① **心臓（しんぞう）マッサージ**

心臓が止まったときに、外部から心臓を圧迫することによって血液を心臓から押し出す処置のことです。

② **気管挿管（きかんそうかん）**

自力で呼吸を行えなくなったとき、呼吸ができるように口または鼻から直接気管内に管をいれる処置です。

③ **人工呼吸器（じんこうこきゅうき）**

呼吸ができない、または、呼吸が不十分な場合に、人工的に機械などを使って呼吸を助ける方法です。

④ **昇圧剤、強心剤（しょうあつざい、きょうしんざい）**

血圧を上げるために使う薬です。主に点滴でいれます。血圧を上げて脳や心臓などの機能を保つことが目的です。

⑤ **輸血（ゆけつ）**

血液中の赤血球（酸素を運ぶ成分）、血小板や凝固因子（出血したときに血液が止まるように働く成分）などの機能や量が低下したときに、その成分を補充するために静脈内に血液をいれます。

⑥ **人工透析（じんこうとうせき）**

腎臓は、血液を濾過して体内の老廃物や余分な水分を尿として捨てる働きをしています。腎臓が著しく悪くなった場合に、腎臓の代わりに機械で血液を濾過してきれいにすることを人工透析と言います。

⑦ **点滴（てんてき）**

腕や足の静脈から栄養や水分を補給する方法です。食べたり飲んだりできない場合に適応となります。一般的で簡便ですが、十分な栄養を投与することはできません。

⑧ **中心静脈栄養（ちゅうしんじょうみゃくえいよう）**

鎖骨の下、首、太ももの太い静脈にカテーテル（管）をいれ、点滴を行う方法で、局所麻酔下で専門医が管をいれます。管による感染が疑われたり、管がつまったりすれば抜きますが、腕や足の静脈から入れる方法と違って長い間、栄養をいれることができます。

⑨ **経鼻経管栄養（けいびけいかんえいよう）**

鼻から胃にチューブをいれる方法です。食べ物を飲み込めなくなったり、必要な栄養や水分を口から取れなくなった場合に使用されます。長期間の栄養および水分の補給が可能となりますが、チューブによる違和感があります。

⑩ **胃瘻（いろう）**

胃カメラまたは手術で、皮膚から胃に直接チューブをいれる方法です。鼻から入れるチューブと違って、鼻や喉（のど）の違和感はありません。

